

2026年3月13日

株式会社ビズリーチ

サイバーセキュリティの仕事を学び、10年後のキャリアを考えよう！**ビズリーチ、中高生向けキャリア教育イベントを開催**

NECとアシュアードの協力のもと、仕事の疑似体験やスペシャリストへのインタビューを実施

株式会社ビズリーチ（所在地：東京都渋谷区/代表取締役社長：酒井哲也 以下、当社）は、中高生向けキャリア教育イベント「デジタル時代の情報を守れ！サイバーセキュリティの仕事を学ぼう」を、2026年3月7日に開催しました。当日は、サイバーセキュリティに関する事業を展開する日本電気株式会社（所在地：東京都港区/取締役 代表執行役社長 兼 CEO：森田隆之 以下、NEC）と株式会社アシュアード（所在地：東京都渋谷区/代表取締役社長：大森厚志）の2社の協力のもと、カードゲームを通じたサイバーセキュリティの仕事の疑似体験や、サイバーセキュリティのスペシャリストへのインタビューを実施しました。

**■テクノロジーの進歩でビジネス環境の変化が激しい現代、早期からのキャリア教育の重要性が高まる**

近年、個人を取り巻く労働環境は大きく様変わりしており、終身雇用をはじめ従来の雇用慣行が変わる中、個人のキャリア自律が不可欠になりつつあります。ビズリーチ会員を対象に行った調査では、92.8%のビジネスパーソンが「10年前と比べて、現在の世の中の仕事は大きく変化した」と実感している^{*1} ことが分かりました。このように、現代においては未来のビジネスパーソンである中高生が、早期から「働くこと」について考え、自らの可能性を広げる素地を養うことの重要性が高まっています。

こうした状況を受け、「キャリアに、選択肢と可能性を」をミッションに掲げる当社は、変化の激しい時代を生きる中高生を対象に、さまざまな仕事において実際にどのような人が働いているのかを直接知る機会を提供し、早期から仕事やキャリアについて考えるきっかけとなるイベントを企画・開催しています。

■サイバーセキュリティに関連するビジネスを展開する企業の協力のもと、中高生向けキャリア教育イベントを実施

中高生向けキャリア教育イベント「デジタル時代の情報を守れ！サイバーセキュリティの仕事を学ぼう」は、専門性が高く難解と思われがちなサイバーセキュリティの仕事について理解を深めることを目的としています。カードゲームによる疑似体験や現役のスペシャリストとの対話を通じて、仕事の内容やキャリアについて考える機会を提供しました。

サイバー攻撃は激化の一途をたどっており、企業を狙ったランサムウェア攻撃によるシステム停止から、個人を狙うフィッシング詐欺まで、多岐にわたって日常を脅かす身近な脅威となっています。それに伴い、スマートフォンやSNSが普及している中高生の間でもサイバーリスクが高まっており、そのリスクが若年層にまで拡大する一方で、そうした脅威から社会を守るセキュリティ人材は約11万人不足^{※2}しているといわれています。この状況を踏まえ、ビズリーチでは「将来、知らない仕事に就くことはできない」という観点から、中高生を対象にサイバーセキュリティを「自分たちの日常を守る仕事」として伝え、この分野の仕事に興味を持ってもらうことを目的に同イベントを開催しました。

当日は、サイバーセキュリティ関連の事業を展開する NEC とアシュアードの2社の協力のもと、身近に潜むサイバーリスクの脅威を体感する「ID・パスワード流出のデモンストレーション」や、対戦型カードゲーム「スリーナンバー ~CSIRT vs HACKER~」^{※3}を通じてサイバーセキュリティの仕事の疑似体験するプログラムを実施しました。また、第一線で活躍するサイバーセキュリティのスペシャリストへの「お仕事インタビュー」も行いました。

※1 調査概要

調査内容：転職やキャリア観に関するアンケート

調査対象：ビズリーチ会員

調査期間：2025年8月4日～2025年8月10日

有効回答数：648

※2 経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課「[サイバーセキュリティ人材の育成促進に向けた検討会](#)」資料

※3 株式会社セガ エックスディーが提供する[セキュリティ学習カードゲーム](#)

<当日の様子>

- ・お仕事体験（対戦型カードゲームでの疑似体験）の様子



- ・お仕事インタビューの様子



<参加者の感想コメント（一部抜粋）>

- ・ぼんやりとしか分からなかったサイバーセキュリティについて、詳しく知ることができた。また、実際に仕事をしている人から話を聞くことができる、重要な機会になった
- ・難しそう、ものすごく過酷そうというイメージがあったが、大変なこともあるけど楽しそう、とさらに興味が出た
- ・セキュリティって理系のイメージがあるけど文系でも活躍できる仕事だと知れた
- ・今までは数学や物理の方に進もうと思っていたが情報系にも興味が出た
- ・フィッシングメールに引っかかって痛い目を見た経験がある。面倒くさくても気を付けなきゃなと感じた
- ・セキュリティの仕事をやってみたいなと思った

<イベント概要>

名称：「デジタル時代の情報を守れ！サイバーセキュリティの仕事を学ぼう」

日時：2026年3月7日（土）13:00～15:45

プログラム詳細：

1. オープニング
各社紹介（NEC、アシュアード）
2. サイバーセキュリティを知ろう
基礎知識などの座学、ID・パスワード流出のデモンストレーション
3. サイバーセキュリティをゲームで体験しよう
お仕事体験（対戦型カードゲームでの疑似体験）
4. サイバーセキュリティのお仕事を学ぼう
お仕事インタビュー

株式会社ビズリーチ 未来投資プロジェクト主宰 加瀬澤 良年 コメント

今回の取り組みは、当社のSDGs達成に向けたサステナビリティプログラム「未来投資プロジェクト」の一環として実施したものです。「キャリアに、選択肢と可能性を」をミッションに掲げる当社は、中高生が自らファクトをもとにキャリアに関する情報収集を行う方法を身につけ、将来の納得したキャリアを選択できる力を育むことを目指しています。そうした思いのもと、中高生向けのキャリア教育支援ツール「未来DESIGN Kit」^{※4}を開発し、全国の中学・高校などで約2,900名を対象にキャリア教育の授業を行ってきました。

変化の激しい時代において、早期から社会と接点を持つキャリア教育は、次の世代を担う中高生の選択肢や可能性を広げる重要な鍵になります。本企画が、参加してくださった中高生の皆さんの進路やキャリアを考えるきっかけとなりましたら幸いです。また、本取り組みの実施にあたり、ご協力いただいた NEC 様とアシュアードの皆様から心から御礼申し上げます。

今回は、現代社会において喫緊の課題となっているサイバーセキュリティ分野をテーマに開催しました。今後も、未来のプロ人材の育成や新産業への投資を通じて、日本全体の社会課題の解決に努めてまいります。

※4 <https://www.bizreach.co.jp/pressroom/pressrelease/2023/1222.html>

NEC コーポレートコミュニケーション統括部 ディレクター 平川 真由美 氏 コメント

ビズリーチ様の「みらい投資プロジェクト」が掲げる、社会課題解決を通じてより良い未来を目指す考え方は、NEC の Purpose や企業市民活動と高い親和性があります。ビズリーチ様の人材・キャリア領域の知見と、NEC が注力するサイバーセキュリティのプロフェッショナルの知見を掛け合わせることで、中高生にとって社会課題を自分ごととして捉え、将来のキャリアを考える、他にはない学びの機会を創出できたと考えています。

■株式会社ビズリーチについて

「キャリアに、選択肢と可能性を」をミッションとし、2009 年 4 月より、働き方の未来を支えるさまざまなインターネットサービスを運営。東京本社のほか、大阪、名古屋、福岡、静岡、広島に拠点を持つ。即戦力人材と企業をつなぐ転職サイト「ビズリーチ」、社内スカウトで人材流出を防ぐ「社内版ビズリーチ by HRMOS」、人財活用プラットフォーム「HRMOS (ハーモス)」シリーズ、OB/OG 訪問ネットワークサービス「ビズリーチ・キャンパス」を展開。産業のデジタルトランスフォーメーション (DX) を推進するさまざまな事業を展開する Visional グループにおいて、主に HR Tech のプラットフォームや SaaS 事業を担う。

URL : <https://www.bizreach.co.jp/>